

代官山小見学会

HILLSIDE TERRACE

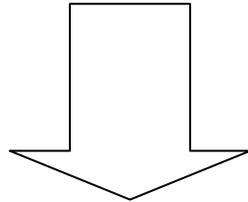
栗間班 梅澤・本多・渡会・田中

# クライアントの存在

- 朝倉誠一郎 ——1967年、朝倉家所有地に『代官山集合住居計画』を構想。槇文彦に設計を依頼
- 朝倉徳道・健吾 ——1977年、誠一郎より施主を引き継ぐ。スペースの管理・運営を担当

# プロセス

第一期計画[1969年]



第六期計画[1992年]

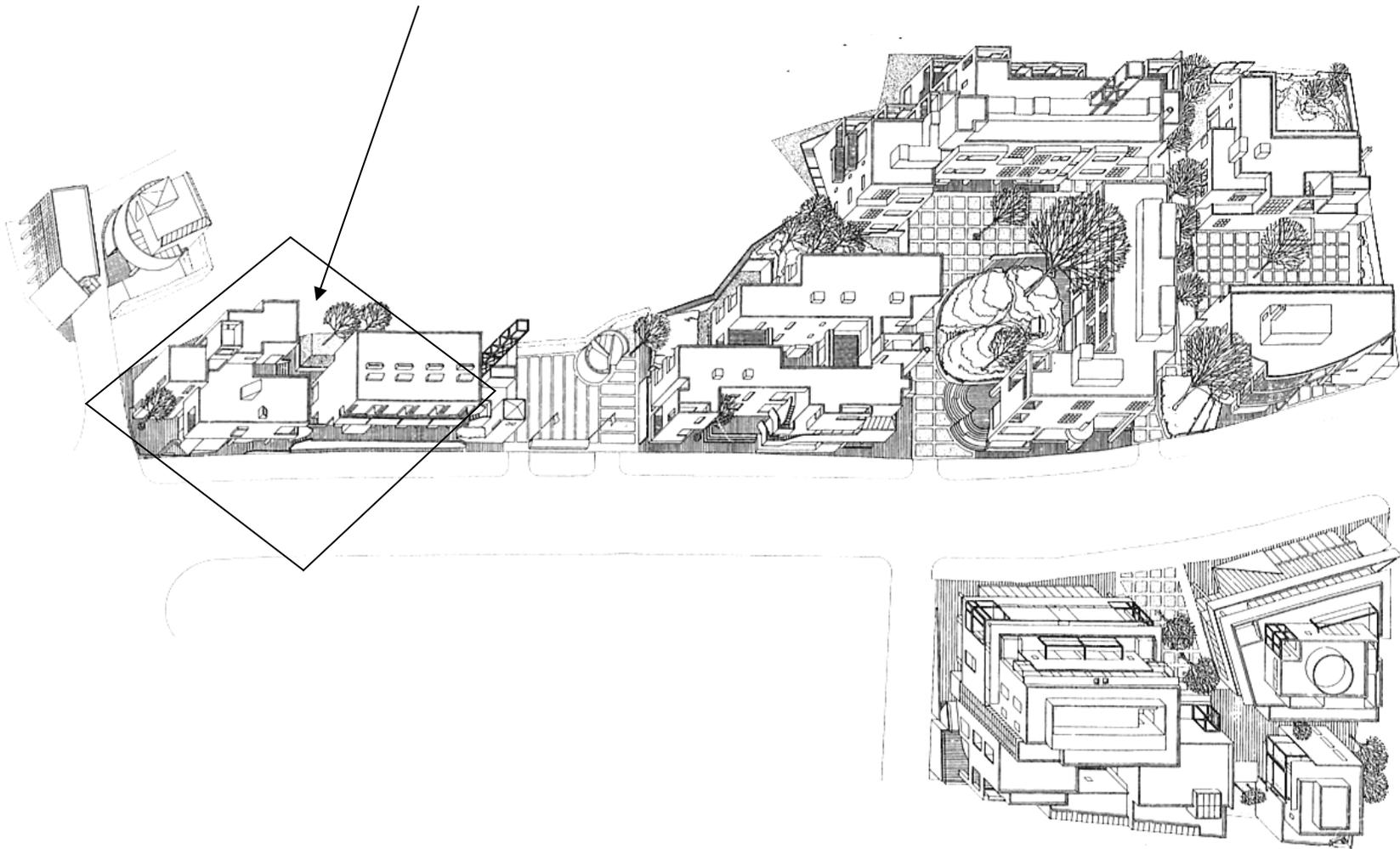
ヒルサイドウエスト[1998年]

# ヒルサイドテラスのテーマ

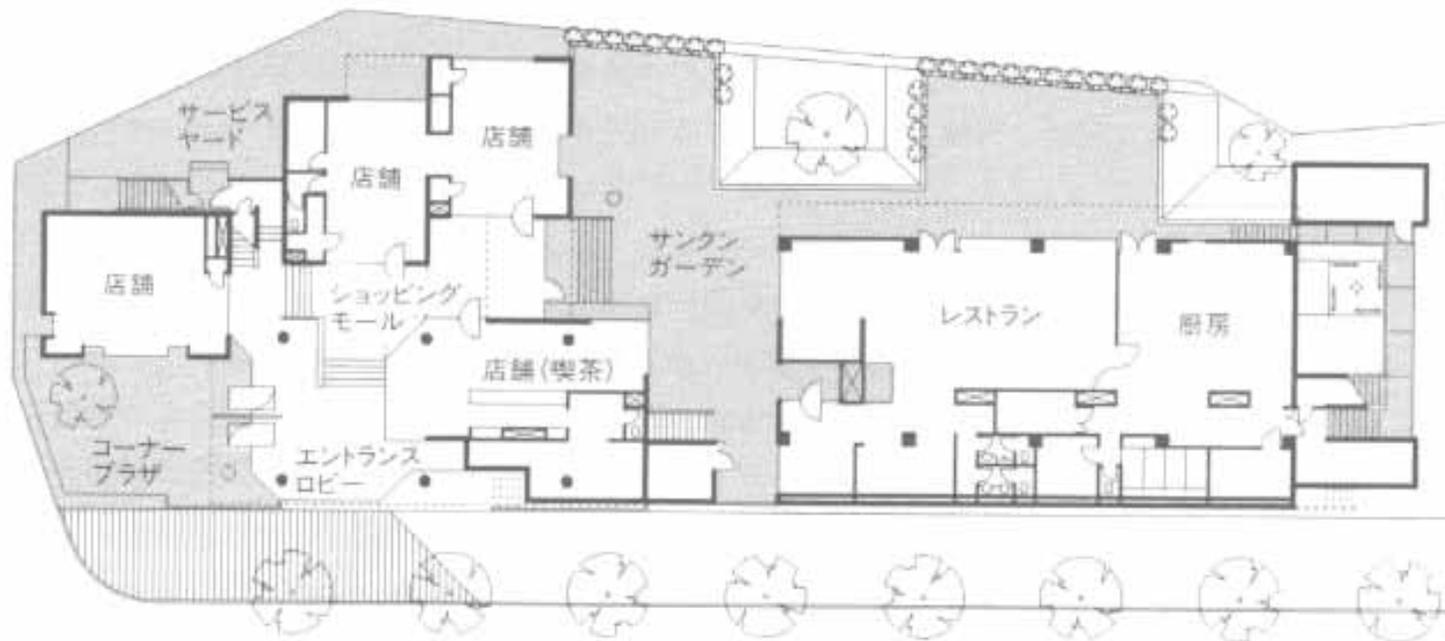
- パブリックスペース
- モダニズムとアーバンデザイン

今日の都市の都市性の有無、クオリティのレベルを決めるものは、現代を鏡とした豊かな風景の集積である。

# 第1期A棟B棟(1969年)



# A・B棟 1階平面図



# 第1期テーマ 「道に沿った空間」



# A棟B棟のパブリックスペース

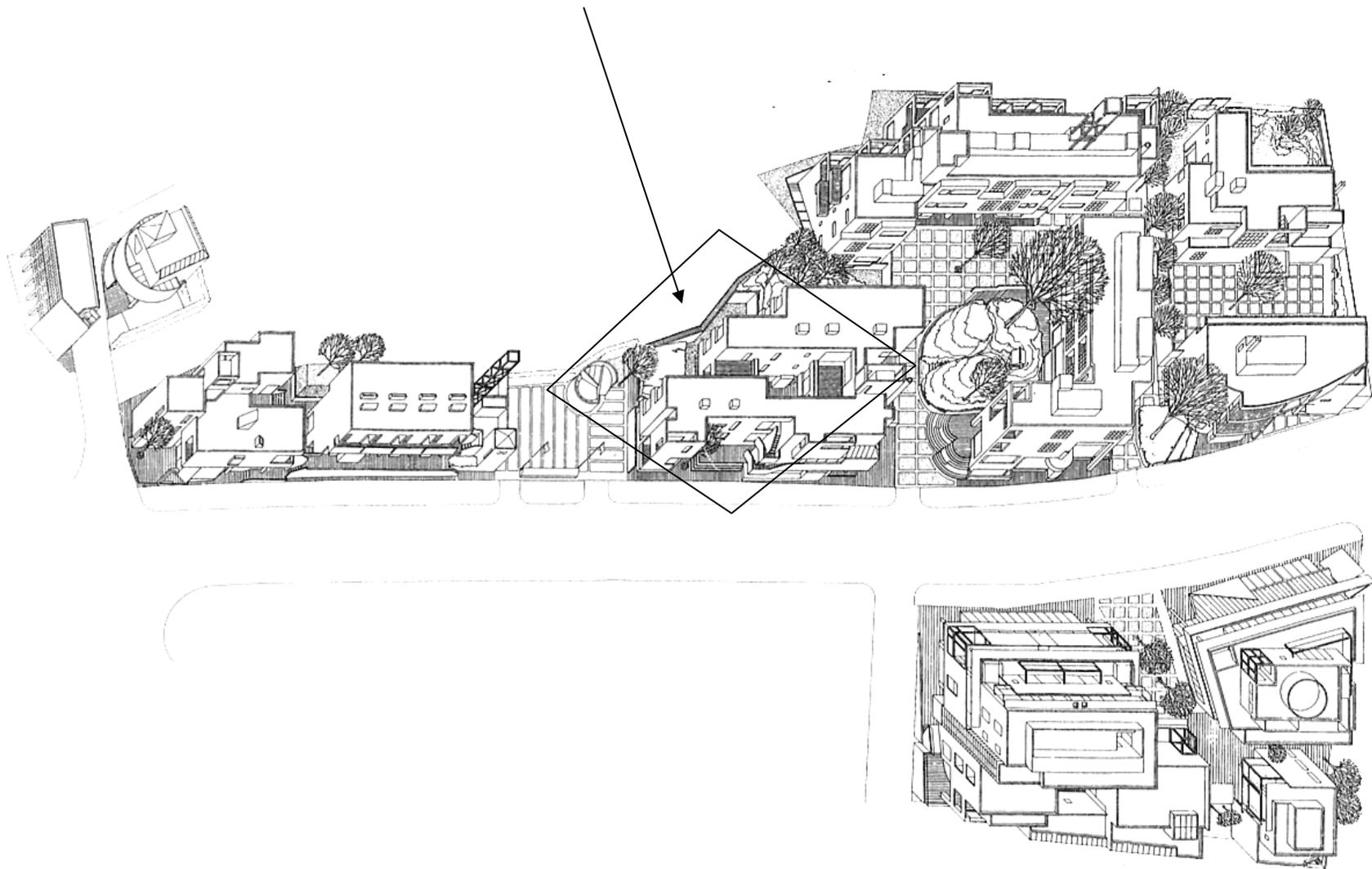


奥には幾つかの店舗が入っている。  
外から見える面が全てガラス張りになっていて明るい。



1階はレストラン、2階3階はメゾネットタイプの住居となっている。  
壁が前に飛び出している上、色が暗い。

# 第2期C棟(1973年)



# C棟 1階平面図



# 第2期C棟(1973年)



テーマ 「道に沿った空間」

# パブリックスペース・中庭



1階～3階まで吹き抜けになっている。  
中庭を囲むように店舗が入っている。

角をなくして、壁を感じないつくり  
にしてあった。



# パブリックスペース・サンクンガーデン



中庭を抜けC棟の裏に出ると一面全て緑だった。

# パブリックスペースの配置場所

第1期・・・建物の外側

第2期・・・建物の内側

## 配置場所が違う理由

4年のうちに起こった状況の変化(山手通り)自動車交通量の増加)に対応したため。

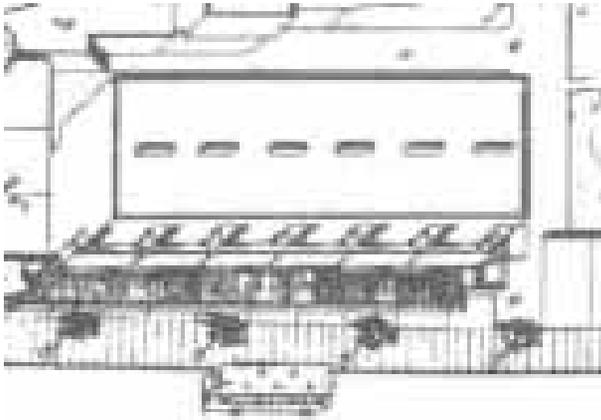
# 第2期計画の修正

排気ガス・騒音から入居者を守る必要

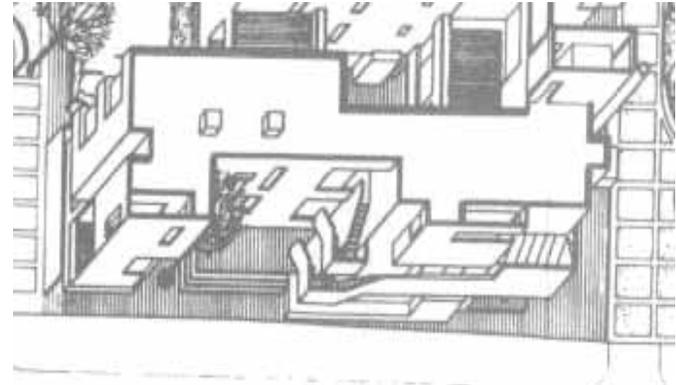


道路に面する部分を壁に変えた

マスタープラン(1969)



実際(1973)



# 第2期計画の修正

排気ガス・騒音から入居者を守る必要



道路に面する部分を壁に変えた



外側のペDESTリアンデッキ(パブリックスペース)が無くなる

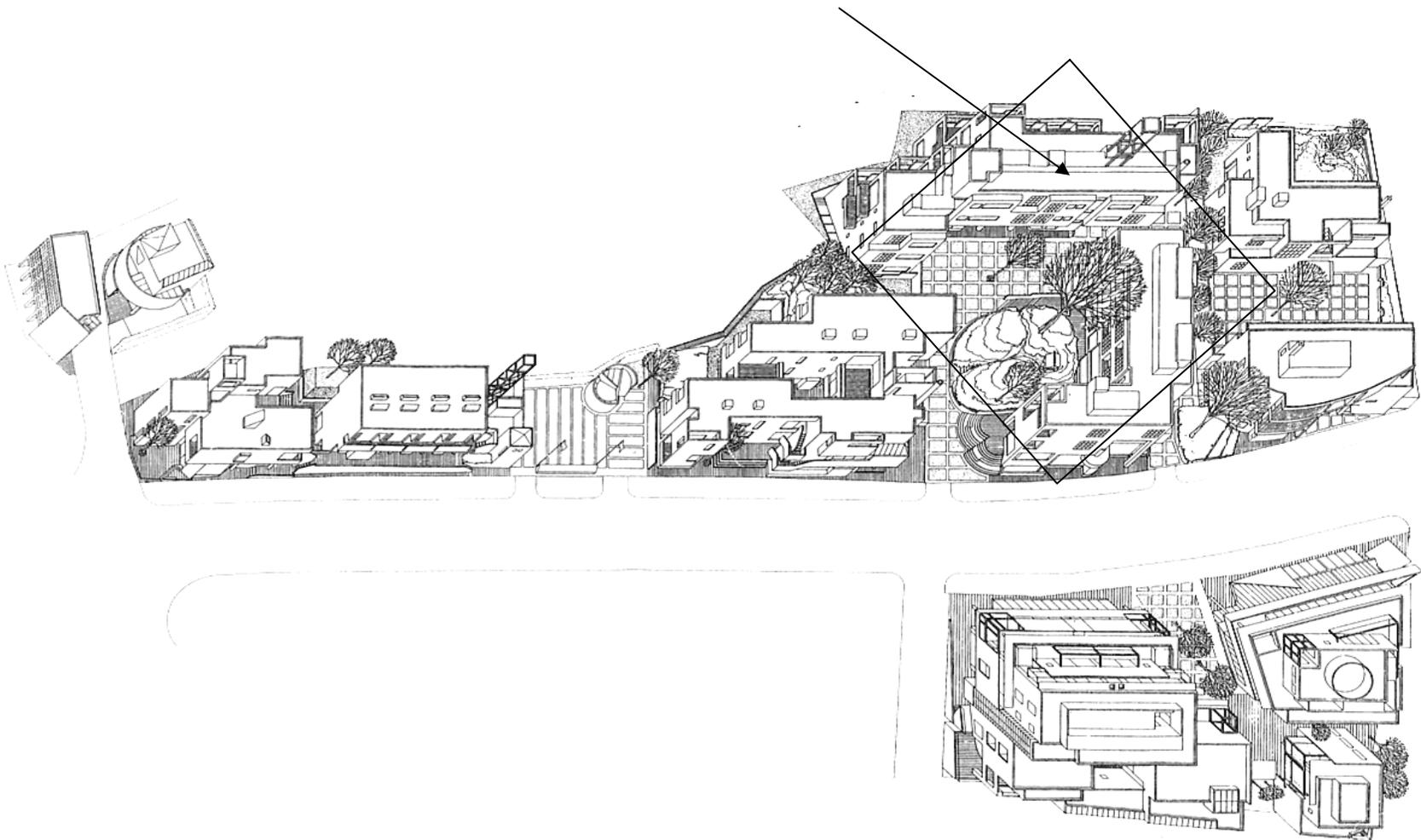


建物内部に入った

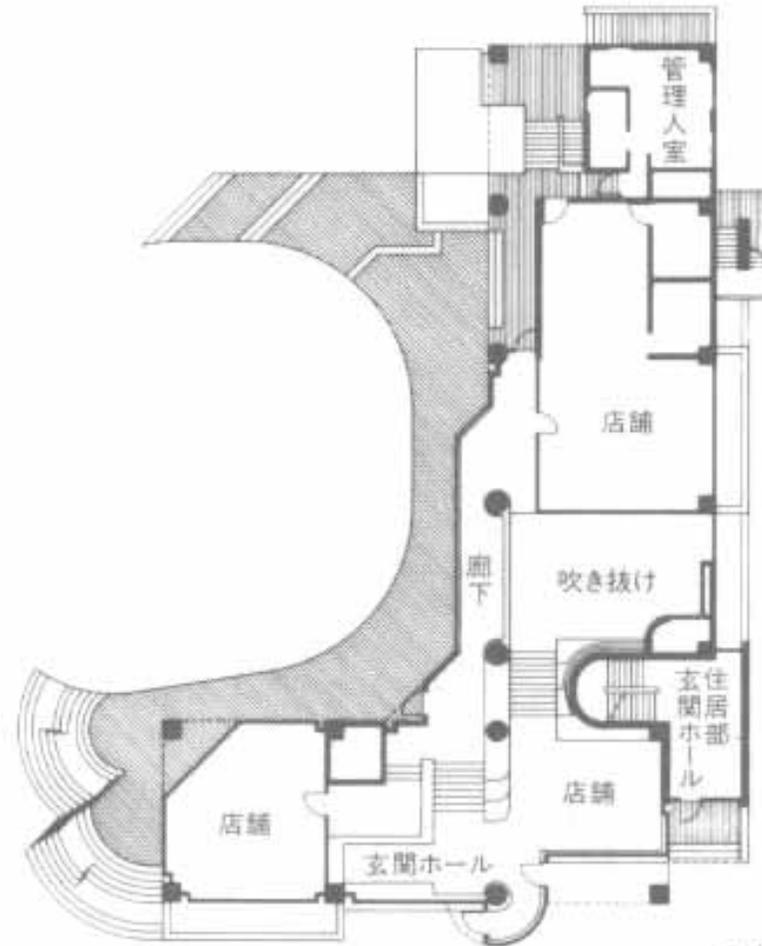
ヒルサイドテラスは長期にわたる計画であるため、状況に応じてマスタープランに修正を加えていた。

# 第3期D棟E棟

2



# D棟 1階平面図



D棟 1階平面配置図

# E棟 1階平面図



E棟 1階平面配置図

# 第3期D棟E棟



# 第3期D棟E棟



E棟



D棟

# 第3期D棟E棟のパブリックスペース



D棟1階に設けられたロビー。  
ちょっとした活動ができる。



塚が残されているため他に  
比べて緑が多い。  
山手通りから内に入っている  
ため中庭のようである。

# HILLSIDETERRACE ANNEX

## ヒルサイドテラスアネックス



・所在地

渋谷区猿楽町

29-18、30-2

・設計

元倉真琴・杉千春

/スタジオ建築計画

・用途

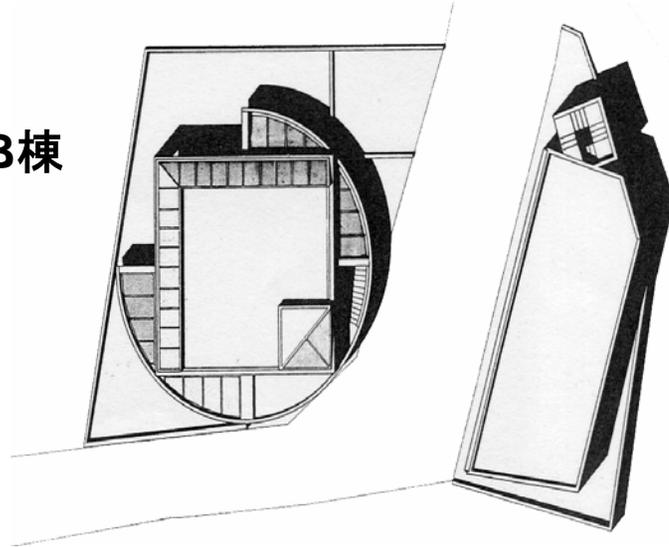
事務所

・竣工

1985年12月

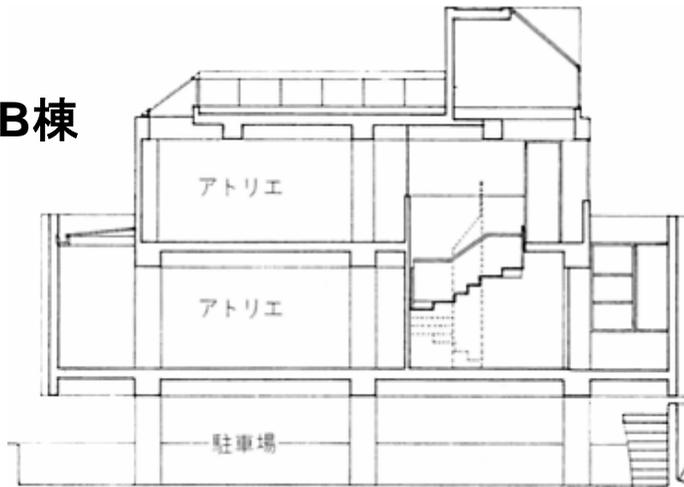
(昭和60年)

**B棟**



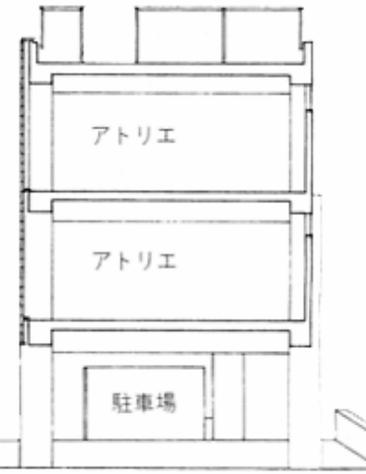
**A棟**

**B棟**



B棟断面 B bldg., section

**A棟**



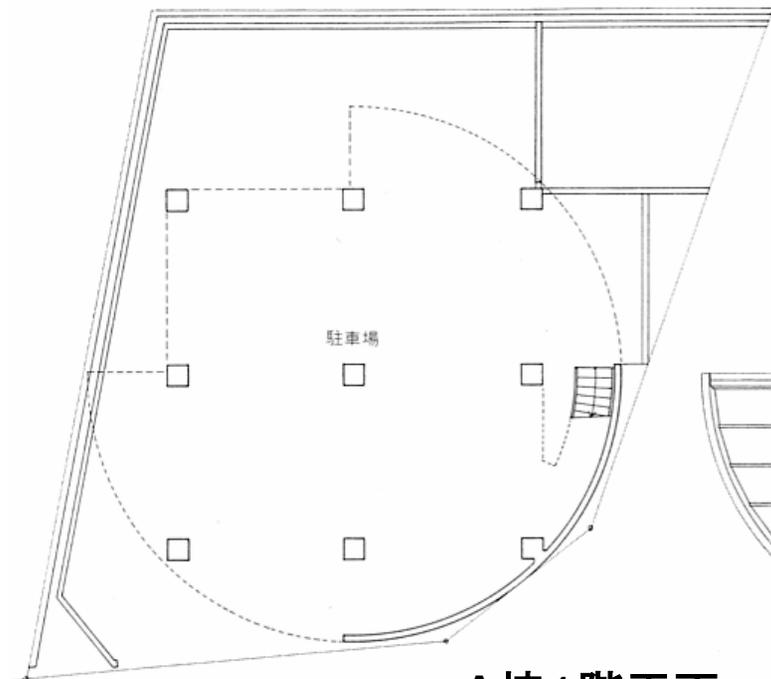
A棟断面 A bldg., section S=1:25

- 
- ・ヒルサイドテラスの付属棟(アネックス)
  - ・A棟とB棟に分かれている
  - ・A棟とB棟は対照的なものとして考えられている

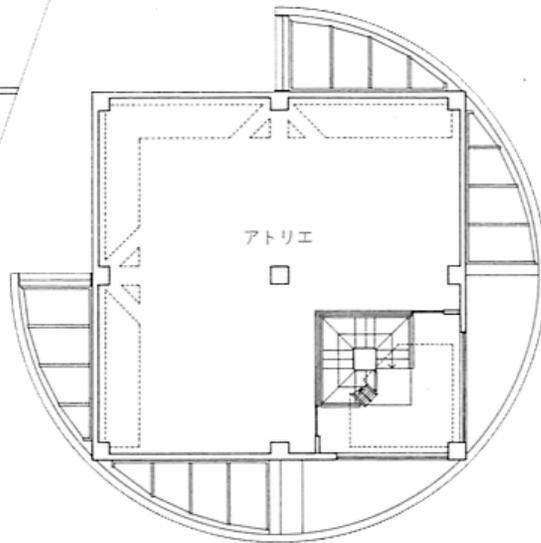
# A棟

- ・曲がり角を強調
- ・トツプライトによる採光

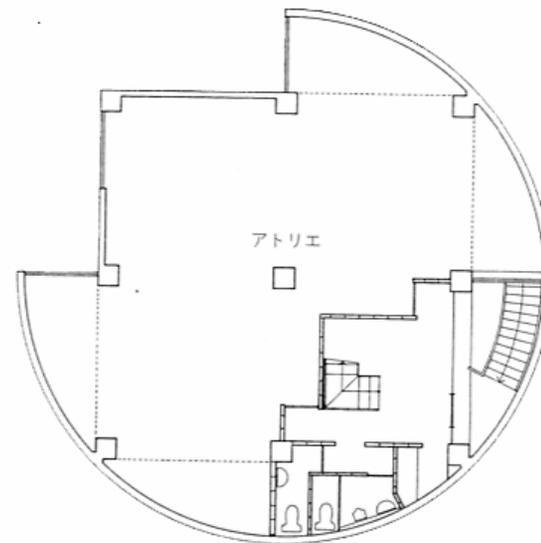




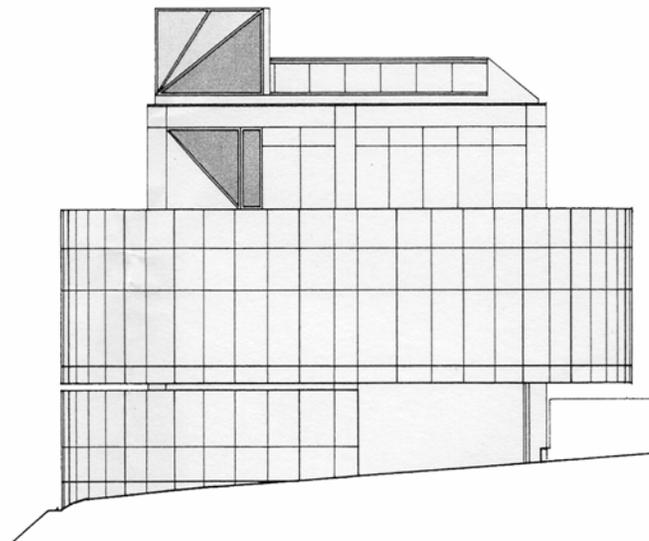
A棟1階平面



2階平面 2nd  
2階平面



3階平面 3rd  
3階平面



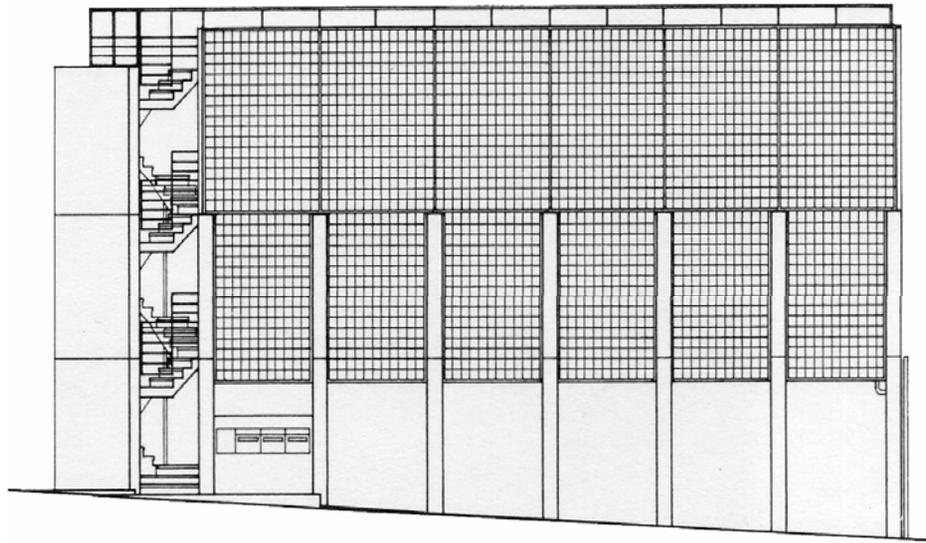
A棟東側立面 A bldg., east elevation S=1:200

# B棟

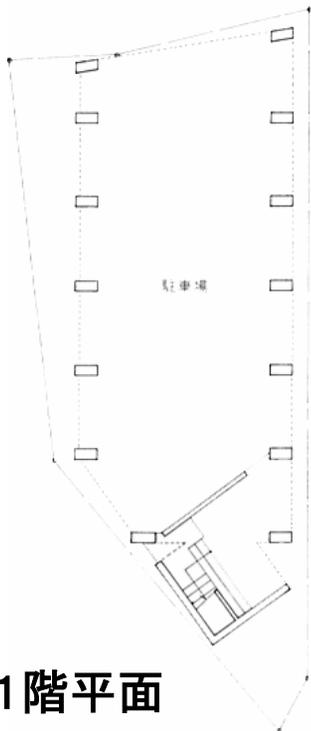
- ・坂の登りのアイストップ
- ・ガラスブロックからの柔らかい光
- ・列柱は坂を歩くリズム



無機質で、全体的に閉じている印象

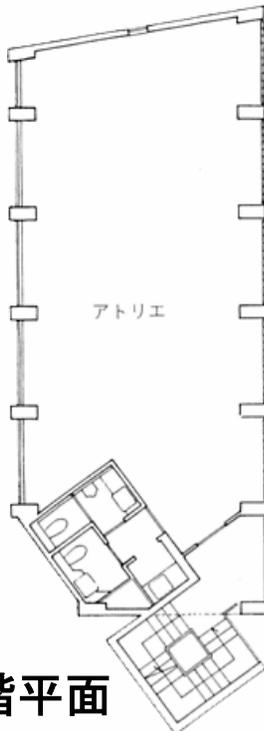


B棟西側立面 B bldg., west elevation



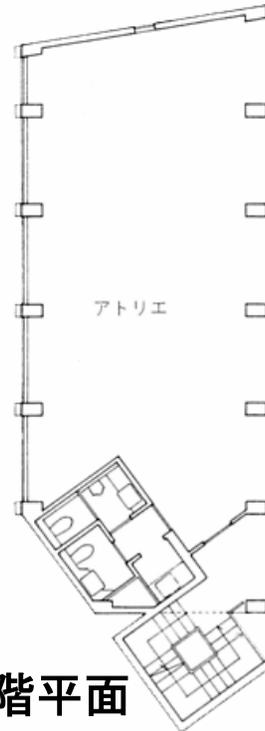
B棟1階平面

B棟1階平面 B bldg., 1st S=1:250



2階平面

2階平面 2nd



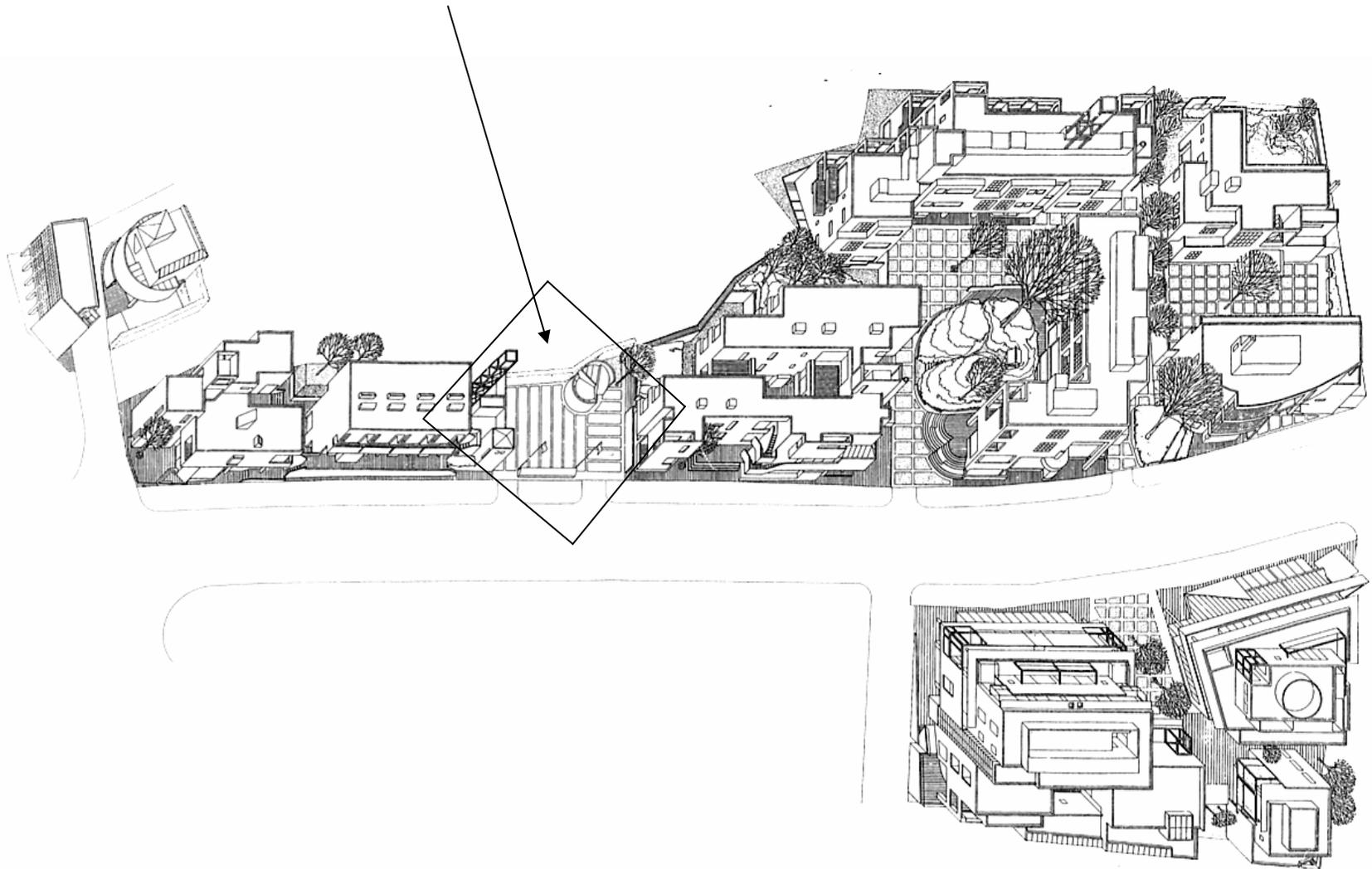
3階平面

3階平面 3rd

# ヒルサイドテラス第5期(86~87)

## ヒルサイドプラザ

2



# ヒルサイドプラザ(地上)



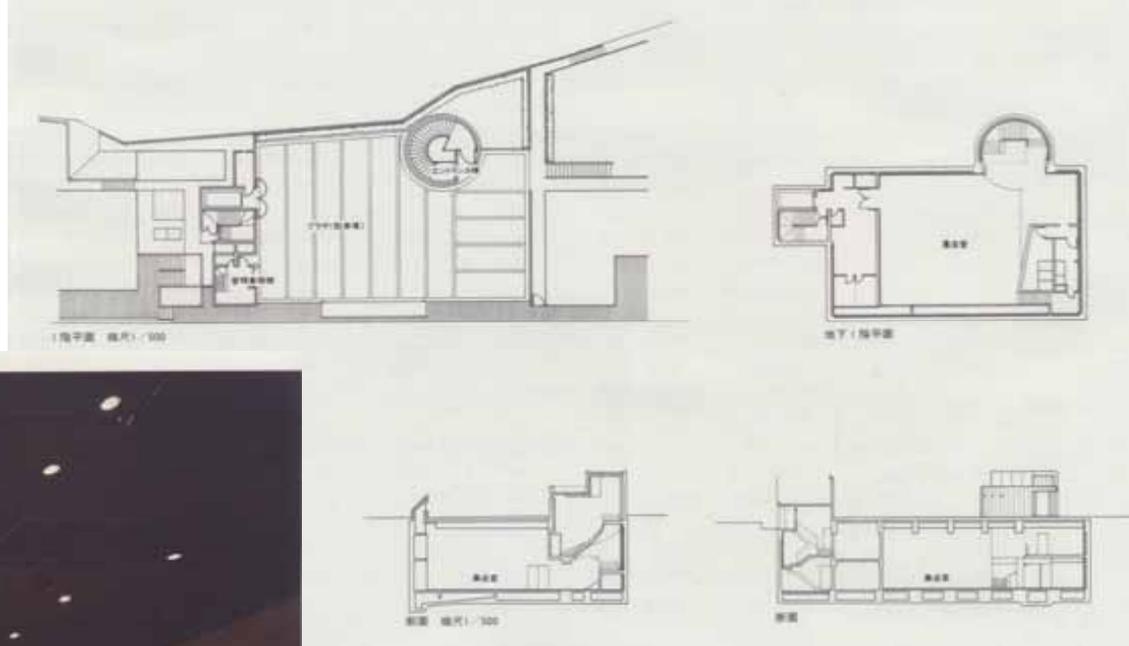
この部分にある円形のエントラス棟が地下への入り口となっている。

地上には管理事務棟とエントラス棟の2つの建物だけが配置された。

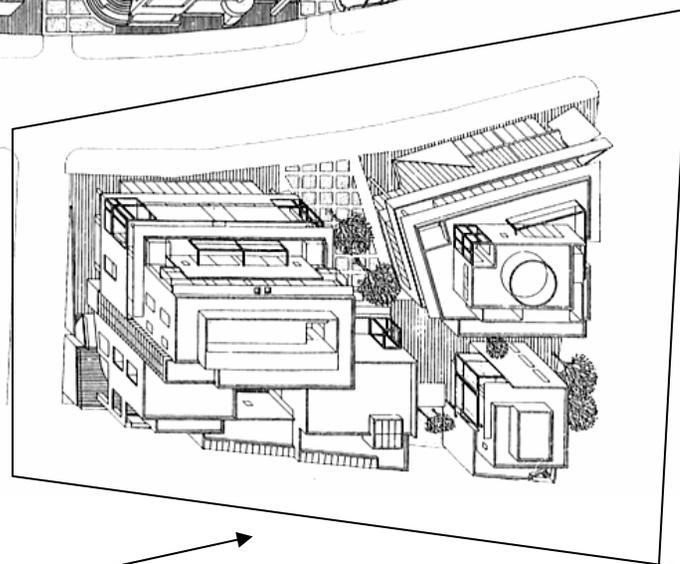
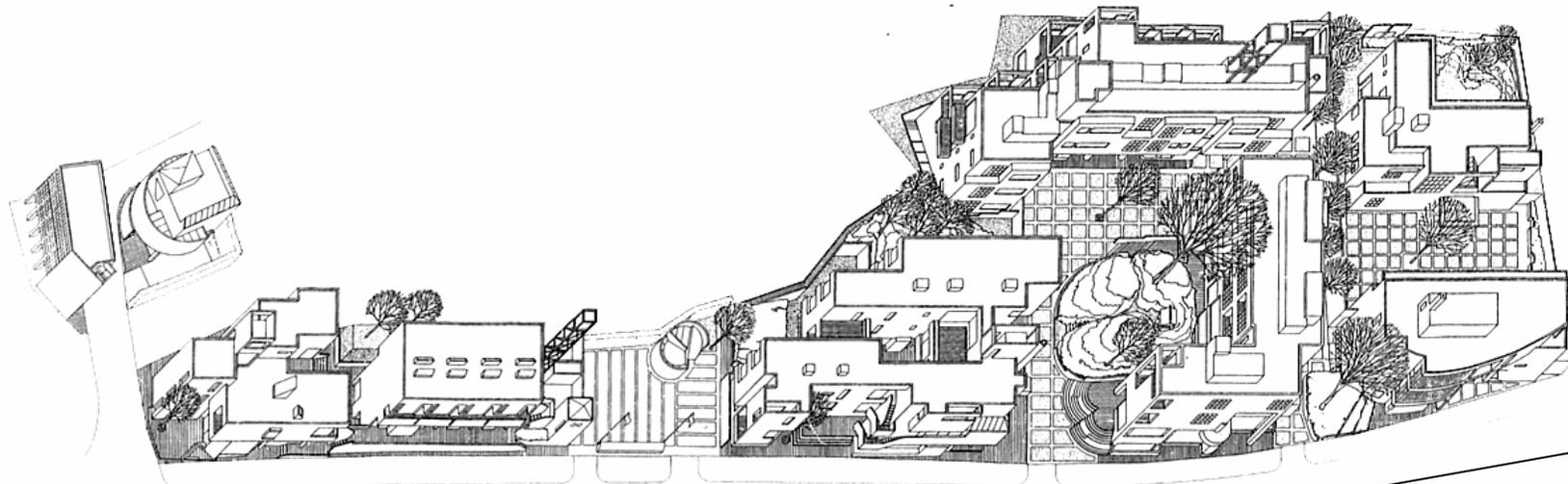
写真左下のインフォメーション・サインは外来者のためだけでなく、地下の換気と排煙の開口の役割を果たしている。

普段は写真のように駐車場として使われてる。お祭りの時はバザールの会場になったりして、第5期はコミュニティのための文化的な場所として創られた。

# ヒルサイドプラザ(地下)



- ここでは音楽会や展示会などの文化的なイベントを開催している。ヒルサイドテラスを単なる店舗と住居の集合建築にしたいくないという思いから、このような文化的なホールが作られた。
- 地下室は、12m×12mの集会室で成り立ち、高さは5mほど。集会室は吹き抜けになっている。

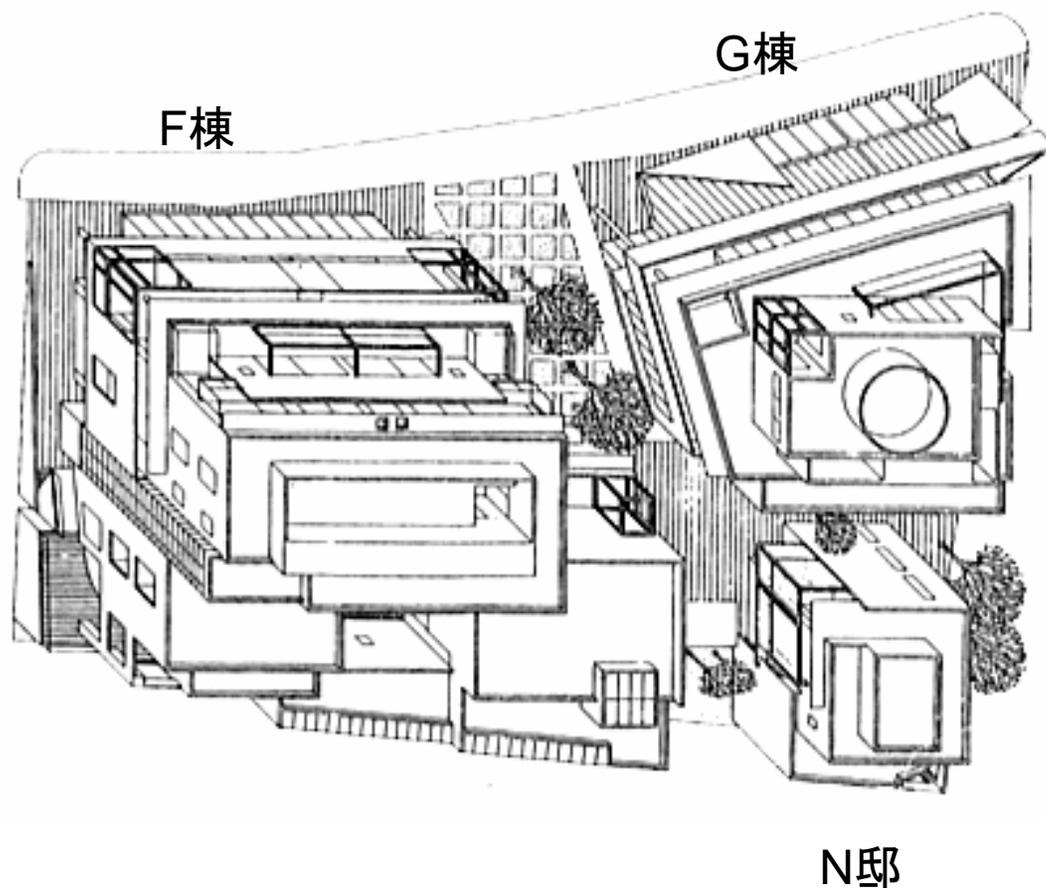


# ヒルサイドテラス第6期(89~92)

第6期も第5期ヒルサイドプラザのように、文化的な施設がある。F棟、G棟がそれに当たり、N邸は個人住居になっている。

F棟、G棟では主にアートの展示、集会などさまざまなイベントが開催されている。

建物内には、店舗、エントランスホール、ロビー、カフェ、ギャラリー、事務所、などがある。



左がG棟  
右がF棟



通りを挟んだ他の期の棟の高さと同じ約10の高さに庇が作られた。槇文彦はこれによって町の一部の軒並みを統一させようとした。



F棟、G棟の間にあるパブリックスペース。広々とした空間で建物に近づくと中の様子がよくわかる。



F棟1階から見たパブリックスペース。大きな窓から日差しが差し込み開放感がある。



F棟 正面

(5階～地下1階)

1階部分はほとんどガラス張りになっていて中の様子が外からよく見える。

道路側にエントランスホールがあり、外来者は中でどんなイベントをやっているの  
か見れる。

2～3階の目隠しをされた部分には住居になっている。

G棟

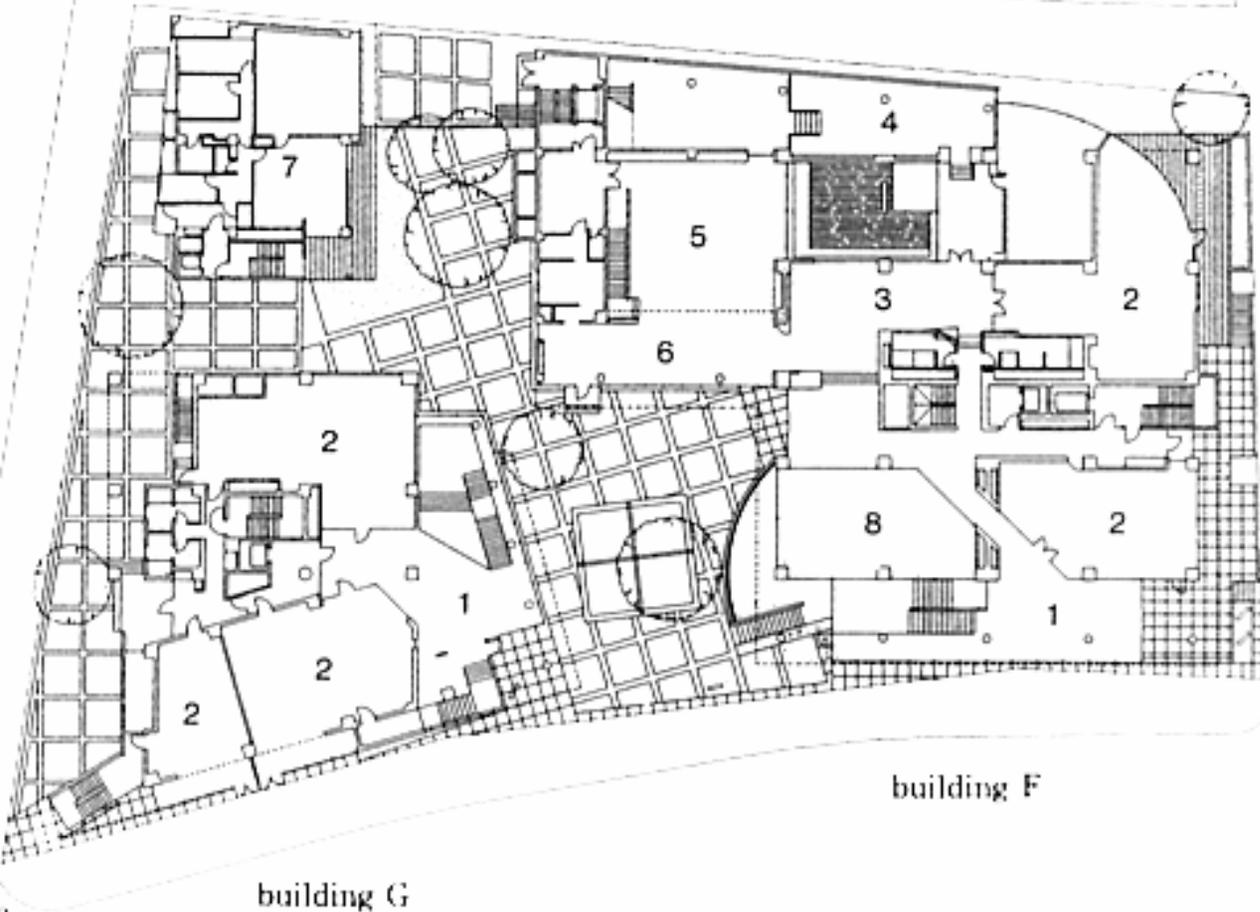
4階～地下2階



G棟もF棟同様に1階部分がほとんどガラス張りになっている。

G棟には道路側に店舗が並んでいる。段差など境界を感じさせる物がほとんどない。

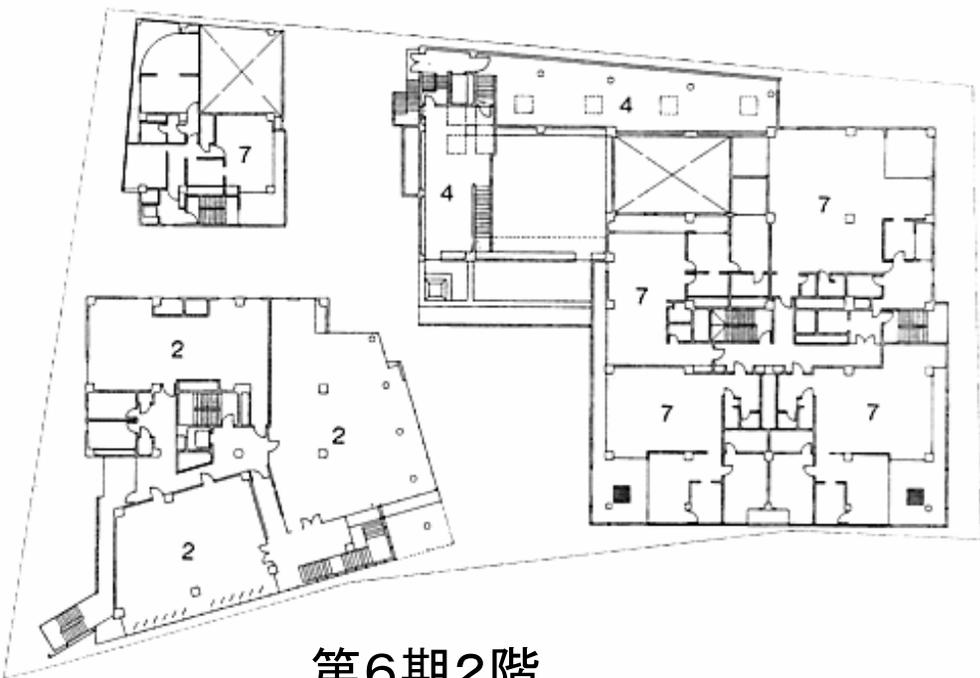
building H



## 第6期1階平面図

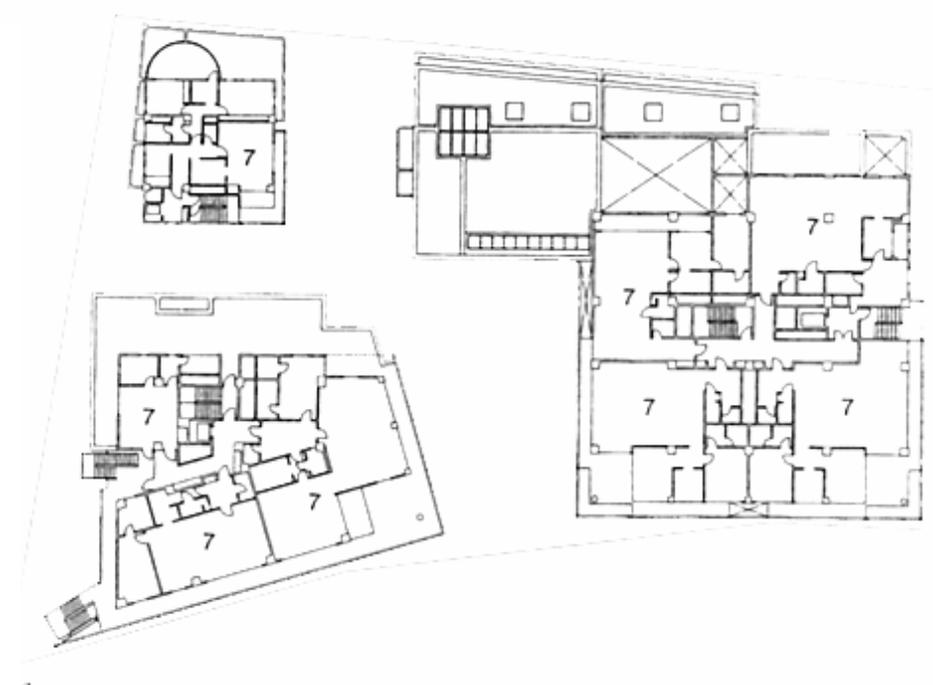
- 1 エントランスホール
- 2 店舗
- 3 ロビー
- 4 ギャラリー
- 5 フォーラム
- 6 カフェ
- 7 住居
- 8 吹き抜け
- 9 レストラン

建物間のパブリックスペース、歩道に面した部分(主に図の下部)にホール、店舗が集中しているのがわかる。



第6期2階

- 2 店舗
- 4 ギャラリー
- 7 住居



第6期3階

上の階は1階とは対照に住居が中心となっているのがわかる。

# HILLSIDE WEST

## ヒルサイドウエスト

・所在地

渋谷区鉢山町

13-13、13-4

・設計

槇文彦

/槇総合計画事務所

・用途

オフィス、店舗、住宅

・竣工

1998年11月(平成  
10年)



A棟1階の店舗

# 旧山手通り側の ファサード

- ・プライバシーの保護
- ・光による表情の変化
- ・視覚的なステートメントの効果



ヒルサイドウエストの設計の姿勢とコンセプト



30年に近いヒルサイドテラスの歴史の集積

旧山手通り周辺の盛り場化、若者の町化



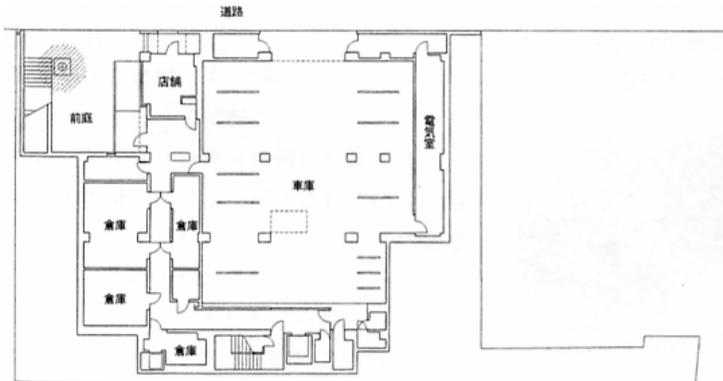
失われていく昔の旧山手通り

大樹が作り出す緑の傘

人影の少ない陰影のある場所

早朝や夜の静けさ

新しい現実として別なかたちで再生されていく  
ひとつの拠点づくり



地下2階平面

## 地下2階平面



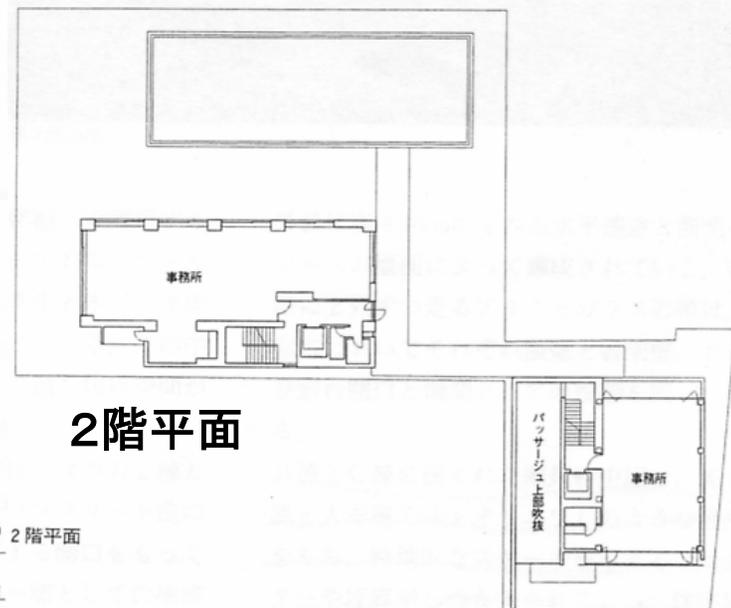
地下1階平面

## 地下1階平面



## 1階平面

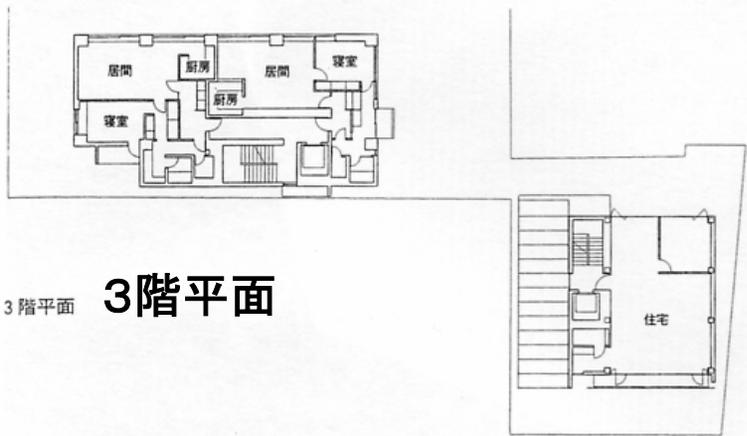
1階平面 縮尺 1/600



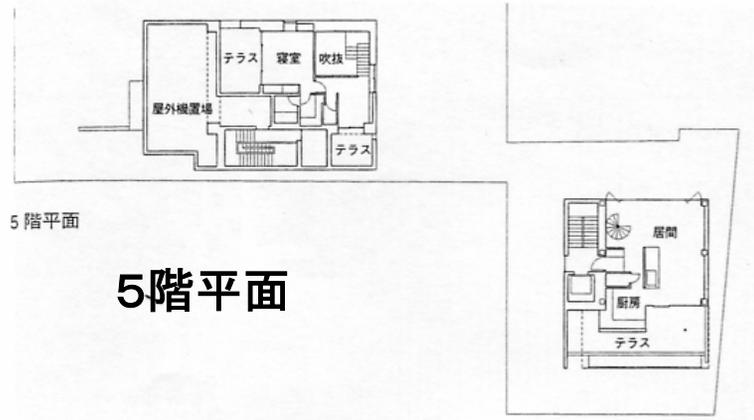
## 2階平面

2階平面



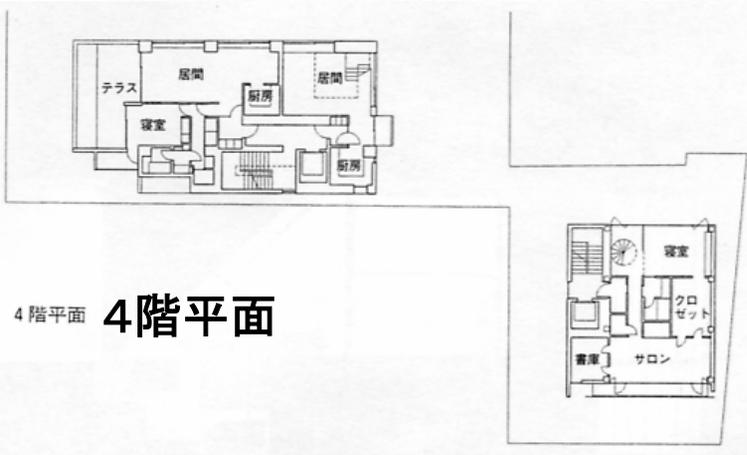


3階平面 **3階平面**



5階平面

**5階平面**



4階平面 **4階平面**



配置 縮尺 1/3,000

計画をまとめる上でのテーマ  
「路地(パサージュ)」

三つに分けられた分棟の間を縫う

各棟には異なった素材による仕  
上げ



素材の対比



視覚的な変化

# 都市と建築

何がヒルサイドテラスを代官山全体に影響を与えるほどの建築物にしたのか？その一つを考えてみた。

## 注目した点

- 朝倉家の単なる住居と店舗の集合建築に終わってほしくないという願い
- 状況に応じた対応
- パブリックスペースの設置
- 完成後にも続ける代官山活性化のための活動

これらヒルサイドテラスに関わる多く人々の活動が、ヒルサイドテラスを作りあげ、代官山に影響を与えた要因一つのものとなったのではないだろうか？

# 小見学会全体を通しての感想・反省

- 初めての見学・プレゼンでヒルサイドテラスは難しかった。
- 勉強不足だった。行く前にもっと多くの資料を読むべきだった。
- 発表が調べ学習のようになってしまった。
- 建築を実際に見る面白さを知った。
- 最後の「都市と建築」について考えたのが、一番難しかった。